

32th ANNIVERSARY
TIANANMEN SQUARE MASSACRE
六四

忘れない



32
人民不
会忘記
1989-2021
天安門事件

天安門事件 32 周年記念オンライン集会

・証言「そのとき私が北京で見たもの—そして、中国のこれまでとこれから」大崎雄二(法政大学社会学部教員、元NHK 北京特派員)

天安門事件当時 NHK 北京特派員として目撃した大崎雄二さんに、自ら見聞きしたことや昨年公開された外務省文書などをもとに、当時何があったのかお話しいただきます。そして、最近の香港やウイグル・チベット・モンゴルなどの状況も含め、中国の民主・人権について考えます。

【大崎雄二(おおさきゆうじ) 1958 年福岡県生まれ、1980~82 年中国政府奨学金留学生として天津・南開大学に留学。1983~1990 年 NHK 記者、1986~89 年北京特派員。1995 年東京外国語大学大学院博士後期課程中退、北海道大学教官等を経て現在に至る。】



王丹 (おう たん)

1969 年、中国北京市生まれ。1989 年、北京大学在学中に民主化運動に参加。「天安門事件」ののち、「首謀者」の筆頭として指名手配を受け逮捕される。裁判で懲役 4 年の刑を受ける。出所後も 1995 年に再逮捕。1998 年 4 月、釈放されアメリカにわたりハーバード大学に入学、歴史学博士の学位を取得。その後、台湾・中央研究院近代史研究所や清華大学、米国・カリフォルニア大学、英・オックスフォード大学で研究や教育に従事した。現在米国ワシントン DC 在住。シンクタンク「対話中国」所長。著書の日本語訳に加藤敬事訳『中華人民共和国史十五講』(ちくま学芸文庫、2014 年)がある。



ご挨拶：牧野聖修(人権財団理事長)

主講者：大崎雄二

ビデオメッセージ：王丹、胡平、廖天琪、鐘錦江、王進忠、潘永忠、王国興、薛偉 ほか



胡平 (こへい)

1947 年、中国北京市生まれ、1979 年、北京大学大学院生の頃に、中国民主化を求める「民主の壁運動」に参加。この頃に発表した論文「言論の自由を論ず」は大きな反響を呼ぶ。1987 年、米国ハーバード大学博士課程に留学。以後、米に在住。

° 1998 年から 1991 年、「中国民主団結連盟」主席
° 天安門事件当時は同主席として、国外から中国民主化運動を支えた。

現在米国ニューヨーク在住、雑誌「北京の春」名誉編集長、「独立中文ペンクラブ」名誉理事、人権 NGO「中国人権」執行理事。著書の日本語訳に石塚迅訳『言論の自由と中国の民主』(現代人文社、2009 年)がある。

日時：2021 年 6 月 5 日(土)14 時~16 時 場所：Zoom 及び YouTube ライブ配信 事前申込方法：a62210132000@yahoo.co.jp ※確認後、接続 URL を記した返信用メールを送付します。

主催：一般財団法人人権財団(理事長・牧野聖修〔元経済産業副大臣・元衆議議員〕)

後援：中国民主団結連盟、民主中国陣線、「北京之春」雑誌社、「欧洲之声」、「東京自由民主人権之声」

お問合せ：日本語対応：人権財団 北井大輔 電子メール 6432japan@gmail.com；中国語対応：人権財団 王進忠 携帯電話 090-2179-9812、電子メール wjzjp@sea.plala.or.jp